

# 中央区文化・国際交流振興協会だより



「新大橋（隅田川）」（2008年） 小川幸治

## ● 特集 ●

### 日本語支援活動

### － 出会い、共に成長する場の創造に向けて －

公益社団法人 国際日本語普及協会（AJALT） 内藤 真知子

■ 令和4年度の事業計画と予算

■ 中央区 ひと 粹・生き 江戸東京組紐龍工房体験展示館 株式会社龍工房



Since 1991

# 日本語支援活動 — 出会い、共に成長する場の創造に向けて —

公益社団法人 国際日本語  
普及協会 (AJALT)

内藤 真知子



令和3年10月・11月、日本語ステップアップ講座で内藤真知子先生が講義された「学習者の思いを引き出す～「聞く力」は始めの一步～」及び「学習者の多様性を受け入れる～一人一人の個性を生かした教室活動とは～」また、本年3月ボランティア研修会で講義された「日本語教育を通して見たハノイ」は、先生の人ひょうぼうに寄り添う姿勢や広い視野、行動力などが生きた教材として多くの受講生の心に届く講座となりました。

そこで、今回、語り尽くせなかった点も含めて取りまとめでいただき寄稿いただきました。



内藤 真知子  
(ないとう まちこ)

第1回日本語教育能力試験に合格し、その年にAJALT入会。1989年から国際救援センターで、主にベトナムからのインドシナ難民に「生活のための日本語」を教える。現在も引き続き条約難民や第三国定住難民への日本語指導を行っている。

昨年10月から今年3月にかけて貴協会での計3回のボランティア講座をオンラインで担当する機会を頂きました。それらを振り返りつつ、日本語支援に関する私の考えを綴つづってみようと思います。

## 「聴く」からはじまる日本語支援 — 「ことばの種」は学習者の中に —

第一回日本語ステップアップ講座のテーマは「学習者の思いを引き出す～「聞く力」は始めの一步～」というものでした。これはかねがね「傾聴の日本語教育」を標榜していた私にとって、うってつけのテーマと思えました。

ボランティアの皆さん、日頃、教室に赴く時、何を思っていますか。その日の文型のことでしょうか。授業の手順でしょうか。気分はどうですか。「上手く教えられるだろうか」と、少しドキドキしていますか。あるいは、今日はどんな話を参加者としようかとワクワクしていますか。



ことばの種は学習者の中にあります。「ことばを育む」

私からの提案はこうです。とりあえず、上手に教えようとする気持ちを忘れましょう。肩の力を抜いて、深呼吸して学習者の前に静かに身を置いてみませんか。学習者の前に自然体で立つ自らの「からだ」をもつ。そして学習者の目が、表情が、「からだ」が語りだすのを待ちましょう。日本語がまだ十分でない人でも、「からだ」は何かを語りだすはず。そこで、あなたはおもむろに相手にわかる言葉で、表情で、声のトーンで、相手との対話を始めればいいのです。学習者と、まさに「いま・ここを共に生きる」ことに集中しましょう。

講座では一本の割り箸をお見せしました。学習者とあなたとの間に一本の割り箸を置いて、さて、どんな会話が可能か、グループで考えました。名称、素材、使い方、マナー、コンビニでのやり取り、資源問題等々、短い時間にいろいろな話題が出されました。一本の割り箸をはさんで、話題の展開は計り知れません。さて、学習者は割り箸を前に何を思うのでしょうか。

教えようという身構えを解いて、学習者の前に身を置き



学習者とあなたの  
「一本の割り箸」を  
見つけてください。

ましょう。否、相手を「学習者」と捉えてしまうところから、既にあなた自身、気持ちが「教える人」になっているのかもしれませんが。地域の教室は、決して「教える人」と「習う人」という二つの役割に分割されるものではないはずです。学習者（とりあえずここでは「学習者」という言葉を使いますが）には「学習者」という側面以外の多様な背景があり、人生があることに思いを致す、相手を尊重し、わかりあい、つながりあうことを目的とするコミュニケーションを心掛ける。あなたには相手に合わせた「やさしい日本語」の力が試されます。わかりあおうとする時の「意味の交渉」のプロセスを通して、相手の日本語力は結果として伸びていく。あなた自身も学習者を通して、新しい世界を体験する。それが地域の教室の素晴らしさなのではないかと私は思います。

学習者は、ほんとうは何を言いたいのでしょう。あなたは学習者の声を拾っていますか。学習者の声に耳をすましていますか。いま、ここで、学習者と同じ空間を共有し、相手の「声」、相手の「物語」に耳を傾ける。そこから始めてみませんか。「話の種」は学習者の中にあります。あなたの役割はその種が伸びていくための適度な光や水や養分になることです。ことばを育む—私が日本語学習者を前にいつも思っていることはそのことです。ですので、私は敢えて「聴く」という漢字を使います。

### 「同じ景色を見る」ことから広がる世界

第二回日本語ステップアップ講座のテーマは「学習者の多様性を受け入れる ～一人一人の個性を生かした教室活動とは～」でした。まず、学習者の多様性とは何でしょうと参加者に問いました。国籍、年齢、母語、日本語力、人種、宗教、ジェンダー、仕事、経済力、教育経験、学習目的等々、さまざまな回答がチャットに寄せられました。そう、あなたの前に現れる学習者は実に多様。人数も日本語力もバラバラな学習者を前にして、途方に暮れそうになるお気持ちもわかります。

途方に暮れてしまうのはなぜでしょう？あなたが「上手な授業」をしようとしているからではありませんか。先に述べたように、ここはいったん「上手に教える」を忘れ、「あなたのありのまま」「心を開いて」学習者の前に身を置きましょう。考えてみれば、支援者であるあなた自身も「多様性」の一人。この出会いが面白くないはずがありません。

多様な人たちを前にして、何から取り掛かったらよいか。まずは「同じ景色を見る」ことからスタート。教室の窓から空を見上げて「いい天気ですねえ」と眩くことばから始めてもいいのです。参加者同士が、今、何が話題となっているか、しかと場の文脈を共有して、やり取りを進めるのがいいと思います。「割り箸」もそのひとつですね。

### 共通項を見つけよう！



講座ではアクティビティのひとつとして「共通項を見つけよう！」という活動を紹介しました。レベル差があっても可能な言語活動として、「トピックベースで話す」という方法があります。自己紹介、家族、好きなものや好きなこと、私の一日、私の国の料理、お国自慢、私の健康法、私と日本語との出会い等をテーマにして、「おしゃべり」をします。その際、あなたは学習者の興味を引き、真似したくなるような日本語のモデルを示してあげてください。お互いを知ること自体が楽しい活動となります。

その他、活動時間内に合同の時間をつくる。皆で一緒に歌ったり、体操をしたり、ゲームをしたり、季節の行事を楽しんだり。そんな時間をもつことで、教室に集う人達の仲間意識を育てていくことができます。

### 学習者の「心の声」を引き出す詩を使った活動

ここで、筆者の実践の中から、詩を使った活動を紹介します。

ことば、ことば、ことば

長いことば

短いことば

新しいことば

おもしろいことば

ことば、ことば、ことば

あなたのことば

わたしのことば

好きなことば

きれいなことば

ことば、ことば、ことば

日本語のことば

覚えたいことば

忘れられないことば

(山田ボヒネック頼子作を一部修正)

例えばこの詩を、ジェスチャーしながら皆で何度も声に出して唱えます。身体を動かしながら行くと、不思議と覚えやすいものです。日本語のリズムが自然にからだに入ります。その後、各自が「好きなことば」や「忘れられないことば」を披露することで、互いへの理解を深めていくことができます。これはほんの一例ですが、詩は言語学習の負担を軽減しつつ、レベル差を超えて楽しく学べるよい素材になります。それと同時に、皆の教室文化が育っていきます。

教室もひとつの社会です。いろいろな人が集まればノイズとストレスはあたりまえ。それを共に乗り越えようというタフな神経をもちましよう。

大切なのは「聴く」こと。「待つ」こと。そして違いを「受容する」こと。「聴く」は相手の文化や価値観を知ることでもあり、「待つ」は一生懸命、日本語活動に従事している相手への配慮でもあります。この

ような活動を通して、参加者は多様性と共通性を体感し、その違いを楽しむようになります。

詩は学習者の「心の声」を引き出すきっかけにもなります。それらは毎回、印象的で、深く心に残ります。それを積み重ねることで、かけがえのない時間を共に過ごしたことを私たちは実感できるのです。

いま、ここにいるのは、他のだれでもない「わたし」と、他のだれでもない「あなた」です。人として、人とつながりながら、その人がその人らしく生きていけるためのことばの支援。相互理解、人間関係構築という視点を活動の柱に据えて、小さなことから始めてみることをお勧めしたいと思います。

教室は多様性が交わる場です。いろいろなものを取りこんで受け入れて、ごちゃごちゃのおもしろさ。そこから新しい何かが生まれるのではないかと思います。「多様性バンザイ 多様性にわくわく」ということばで、この回を終えました。

### 私たちは「出会う」ことで共に成長できる

第三回目のボランティア研修では、「日本語教育を通して見たハノイ — JICA ボランティアのベトナム体験談 —」と題し、2016年10月から2018年9月まで、筆者がJICA 海外協力隊として、ハノイ国家大学で日本語教育に携わった体験をお話しました。異文化の中での苦労を喜びに変えた多くの人々との出会い、彼らとの交流を通して筆者の世界がぐーんと大きく広がりました。自分のからだに新しい窓がたくさん開いて、爽やかな風が吹き抜けたと思いました。国や文化がちがっても、そこに生きる人たちは、私と同じ人間、私たちは「出会う」ことで共に成長できるのだということに改めて実感した次第です。自分とは違う多くの人と出会える日本語支援の場を、私自身、これからも楽しんでいきたいと願っています。

いろいろなものを  
とりこんで  
うけいれて、  
ごちゃごちゃのおもしろさ。  
そこからなにかが  
生まれるのでは  
ないかな (ないとう)



多様性バンザイ! わくわく ♥

令和4年度の事業計画と予算の概要をお知らせします。事業内容の詳細は決まり次第、協会のホームページや区のおしらせに掲載してまいります。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止又は延期あるいは実施方法を変更する場合があります。最新の情報は、協会のホームページをご覧ください。最新情報は、協会のホームページをご覧ください。最新情報は、協会のホームページをご覧ください。

### 令和4年度事業計画

#### 文化振興事業

##### 1 機関誌発行・ホームページの管理運営

「中央区文化・国際交流振興協会だより」を発行するとともに、スマートフォンにも対応できる協会ホームページを活用して、協会の事業紹介や最新のイベント情報をお知らせいたします。

###### 機関誌

部数：5,500部 A4判

発行回数：年2回発行（7月－77号 12月－78号）

###### ホームページ

URL：https://www.chuo-ci.jp/

##### 2 芸術・文化の普及

###### (1) コンサート

区民等に親しみやすい音楽鑑賞の機会を提供し、地域の文化活動の推進を図ります。

開催予定：令和4年9月9日（金）午後6時45分開演

会場：日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」

内容：村治佳織ギター・リサイタル ～映画音楽&中南米音楽への誘い～（仮題）

出演者：村治佳織

参加費：2,000円

定員：400名

※感染症の状況によっては変更になる場合があります。



令和3年度コンサート

###### (2) 文化講座

中央区に関係の深い各種文化や芸術、歴史等について、専門家の講話等によりその理解を深めるとともに、区民の文化意識の向上を図ります。

開催予定：

第1回：令和4年 10月6日（木）

第2回：　　　　〃　10月13日（木）

第3回：　　　　〃　10月20日（木）

各回とも午後6時45分～8時15分

内容：プロに聞く 今に伝わり 未来に伝える「香りの世界」

講師：中央区にゆかりの「香り」の専門店さま

会場：日本橋公会堂集会室

定員：各回90名（予定）

参加費：無料



令和3年度文化講座

###### (3) 特別文化講演会

展覧会に関連した講演会を、NHKとの共催により年4回程度開催し、区民の文化意識の向上を図ります。

参加者には、NHKから展覧会の入場券（一人1枚）が提供されます。

※感染症拡大防止のため、開催計画及び時期等は未定です。

###### (4) 古典芸能鑑賞会

中央区に息づく古典芸能を鑑賞する機会を提供し、伝統文化に対する愛着心を育むとともに、その継承・普及を図ります。企画・制作は、中央区を中心に活動する古典芸能実演家で構成する「中央区古典芸能の会」に委託しています。

開催日時：令和4年6月4日（土）午後5時開演

会場：日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」

内容：講話「平将門夜話と近代築地妖ばなし」、演奏「長唄風流船揃」、落語「鮑のし」、舞踊「常磐津忍夜恋曲者-将門-」

参加費：2,000円（中学生以下は1,000円）

参加者：281名



令和4年度古典芸能鑑賞会

###### (5) 文化推進事業助成

区内における文化活動をさらに促進し、もって中央区の文化振興を一層図っていくため、文化事業等を後援するとともに、事業実施等に要する経費の一部を助成します。

###### ①文化創造・発信事業助成

助成金額：当該事業の対象経費の9/10の範囲内（上限200万円）

###### ②文化団体活動助成

助成金額：当該団体活動の対象経費の1/2の範囲内（上限40万円）

###### ③文化推進事業助成

助成金額：当該事業の対象経費の1/2の範囲内（上限10万円）

(6) 中央区まるごとミュージアム

中央区と共催で、区民や来街者が区内各所で行われるさまざまな文化事業を体験できる総合的な文化イベントを開催します。

今年度も、感染症拡大防止のため、事業の実施方法を工夫しながら開催する予定です。(15回目)

開催予定：令和4年11月13日(日)

会場：中央区全域

(7) 文化振興プロデュースチーム

「中央区文化振興プラン」の提言(平成20年度3月)に基づき、区民(企業、NPO等を含む)の自主的な文化活動の推進・拡大を図るため、中央区と協会が協力して文化の専門家等からなるプロデュースチームを平成20年度から運営しています。今後も、区内の文化事業のさらなる充実・発展に資するため、適宜助言をいただいております。

構成員：6名(検討項目によって委員を追加します。)

国際交流振興事業

(1) 国際交流のつどい

外国人と日本人との交流を推進するため、日本の伝統文化等を紹介するとともに、外国文化にも触れられる交流イベントを開催します。

開催予定：令和4年11月19日(土) 正午～午後4時

会場：築地社会教育会館

内容：伝統文化体験コーナー、懇談コーナー、国際交流サロン、防災コーナー等

(1) INTERNATIONAL EXCHANGE PARTY

This event is to be held once a year to promote cultural exchange as well as deepen mutual understanding between Japanese and foreign residents. Please come and experience Japanese traditional culture and various attractions!

Date & Time: Sat, November 19, 2022 12:00 – 16:00

Place: Tsukiji Social Education Center

Fee: Free



令和元年度国際交流のつどい

(2) 国際交流サロン

区内在住・在勤・在学の外国人と日本人が、日本の文化等を体験できるイベントを通じて交流を楽しめる場を提供します。

開催予定：毎月1回(年11回)原則として土曜日の午後

会場：築地社会教育会館ほか

内容：漆器、海苔、和菓子、茶道、ボッチャ体験、お香等

(2) INTERNATIONAL EXCHANGE SALON

With the help of International exchange salon volunteers, we'll hold various events on cultural experiences where both Japanese and non-Japanese residents can enjoy free

and open communication.

Time Schedule: Once a month (11 times a year –except November–), basically on Saturday afternoon.

Place: Tsukiji Social Education Center, etc.

Events: Lacquerware, Seaweed, Japanese sweets, Tea ceremony, Boccia experience, Incense, etc.



令和3年度国際交流サロン

(3) 日本語教室

日本語でのコミュニケーションが困難な区内在住・在勤の外国人を対象に日本語を教えるとともに、受講する外国人と日本語ボランティアが交流できる日本語教室を開催します。

また、受講希望者の増加や多様化に対応するため、区内のボランティア主催教室に対して支援を行っています。

[協会主催の日本語教室]

教室	①水曜日教室	②木曜日教室	③土曜日教室
開催予定	毎月第1・2・3水曜日 (8月を除く)	毎月第1・2・3木曜日 (8月を除く)	毎月第2・3・4土曜日 (8月は第2・3土曜日を除く)
	午後6時30分～8時	午前10時～11時45分	午前10時～12時
会場	女性センター「ブーケ2」	協会講習室または 新富区民館	協会講習室または 新富区民館

※感染症拡大防止のため、各教室とも状況に応じて開催の可否や開催時間の短縮など、対応策を検討しながら開催しています。



令和3年度日本語教室

[協会が支援する日本語教室]

教室	①ワールドフレンズ 日曜にほんごクラブ	②日本語 おたすけたい	③月島日本語倶楽部
開催予定	毎週日曜日	月曜日(月3回)	毎週火曜日(8月を除く)
	午前10時～11時30分	午後7時～8時30分	午前10時～11時50分
会場	日本橋社会教育会館	日本橋社会教育会館	月島社会教育会館
教室	④日本語コミュニケーション・ パートナー	⑤銀座日本語教室	⑥にこにこ日本語
開催予定	火曜日(月3回)	毎月第1・2・3水曜日 (8月を除く)	木曜日(月3回)(8月を除く)
	午後7時～8時30分	午前10時～11時30分	午後7時～8時30分
会場	新富区民館	築地社会教育会館	佃区民館
教室	⑦にほんご生活		
開催予定	毎週土曜日		
	午後2時～3時45分		
会場	築地教会 別棟		

※⑦の教室は、オンラインで開催しています。

※感染症拡大防止のため、各教室とも状況に応じて開催の可否や開催時間の短縮など、対応策を検討しながら開催しています。

### (3) JAPANESE LANGUAGE CLASSES

Chuo Cultural and International Exchange Association (CCIEA) offers Japanese Language classes by volunteer teachers. Besides, we sponsor the classes which are hosted by volunteers to accommodate the increasing number of participants and diversifying needs.

#### I Japanese Classes that we host:

Class	① Wednesday Class	② Thursday Class	③ Saturday Class
Schedule	The 1st, 2nd & 3rd Wednesdays (Except August)	The 1st, 2nd & 3rd Thursdays (Except August)	The 2nd, 3rd & 4th Saturdays (Except the 2nd & 3rd Saturdays in August)
Time	18:30~20:00	10:00~11:45	10:00~12:00
Place	Chuo-ku Women's Center "Bouquet 21"	CCIEA Office Lecture Room or Shintomi Community Hall	CCIEA Office Lecture Room or Shintomi Community Hall
Fee	About ¥2,500 (no fee for the lesson, only for the textbook)		

#### II Other Japanese Classes that we sponsor:

Class	① World Friends Sunday Japanese Club	② Nihongo Otasuketai	③ Tsukishima Nihongo Club
Schedule	Every Sunday	Monday (3 times per month)	Every Tuesday
Time	10:00~11:30	19:00~20:30	10:00~12:00
Place	Nihonbashi Social Education Center	Nihonbashi Social Education Center	Tsukishima Social Education Center
Class	④ Partners of NIHONGO Communication	⑤ Ginza Japanese Language Class	⑥ NIKO NIKO NIHONGO
Schedule	Tuesday (3 times per month)	The 1st, 2nd & 3rd Wednesdays	Thursday (3 times per month)
Time	19:00~20:30	10:00~11:30	19:00~20:30
Place	Shintomi Community Hall	Tsukiji Social Education Center	Tsukuda Community Hall
Class	⑦ Nihongo Seikatsu		
Schedule	Every Saturday		
Time	14:00~15:45		
Place	Tsukiji Church Annex		
Fee	Fees differ depending on the class.		

※ Class ⑦ is held online.

※ All classes are carefully monitoring the situation with COVID-19 and taking preventive measures such as reduction of the class hours and cancellation of the class.

#### (4) 日本語指導者養成講座

上記(3)の各日本語教室で日本語を指導するボランティアを養成するため、協会独自の養成講座を開催します。

開催予定：令和4年5月～10月、全44時間

会場：新富区民館

講師：明海大学外国語学部 准教授 西川 寛之

受講者数：21名

#### (5) 日本語ステップアップ講座

日本語ボランティアを対象に指導力のレベルアップを図るため、ステップアップ講座を開催します。

開催予定：年間7回(14時間)

#### (6) ボランティア活動支援

協会登録ボランティアの活動を強化・支援するため、講習会などを開催します。

また、中央区からの依頼に応じて、協会登録のボランティアを区の事業等に派遣します。

ボランティアの種類及び登録者数(令和4年3月末日現在)

登録者数：361名(実人員)

①通訳・翻訳ボランティア：103名

②イベントスタッフボランティア：190名

③日本語ボランティア：230名

④国際交流サロンボランティア：13名

⑤防災語学ボランティア：57名

ボランティア研修会

開催予定：年間1回

#### (7) 姉妹都市親善写真展

中央区と姉妹都市であるオーストラリア・サザランド市との一層の親善を深めるため、お互いの生活や風景、行事等を紹介する写真を交換し、写真展を開催します。

開催予定：令和5年2月

会場：3カ所を巡回して展示(区役所、日本橋区民センター、月島区民センター 各1階)

#### (8) 国際交流推進事業助成

協会の目的である国際交流を振興するため、区民が主体となっていく国際交流事業に対して事業の実施に要する経費の一部を助成及び後援します。

助成金額：当該事業の対象経費の1/2の範囲内(上限10万円)

## 令和4年度予算

### <収入>

科目	予算額(円)	説明
事業収入	1,405,000	コンサート、古典芸能鑑賞会参加費等
区補助金	114,980,000	区からの補助金
寄付金	1,000	
雑入	1,000	預金利息
収入合計	116,387,000	

### <支出>

科目	予算額(円)	説明
事業費	73,483,000	
文化振興費	67,715,000	文化振興事業に要する経費
国際交流振興費	5,768,000	国際交流振興事業に要する経費
管理費	42,404,000	
人件費	38,756,000	職員の給与に関する経費
管理運営費	3,648,000	理事会、事務費等
予備費	500,000	
支出合計	116,387,000	

# 株式会社龍工房

## 江戸東京組紐龍工房体験展示館

江戸東京組紐くみひもの  
伝統の技・想い・こだわりを継ぎながら  
粋くな挑戦を続けています。



福田 隆さん

### ●プロフィール

「龍工房」4代目当主。「東京都伝統工芸士」「東京マイスター」「現代の名工」のほか、中央区功労者でもある。趣味はテニス。

### ●江戸東京組紐 龍工房体験展示館

東京都中央区日本橋富沢町 4-11  
☎ 03-3664-2031  
<https://ryukobo.jp/>  
月～金(祝日・年末年始等を除く)※要予約  
11:00～16:00  
人形町駅 A4 番出口 徒歩 2分、  
浜町駅 A1 番出口 徒歩 7分  
●中央区まちかど展示館 ウェブサイト  
<https://chuoku-machikadotenjikan.jp/>

1889年に創業し、1963年から日本橋富沢町に工房を構える、江戸東京組紐(くみひも)の龍工房。「現代の名工」であり、富沢町の町会長でもある、4代目当主福田隆さんにお話を伺いました。

**組紐とは、どのようなものでしょうか?**  
最も身近なものは着物の「帯締め」や「羽織紐」です。荣誉な事では、2019年ラグビーワールドカップ日本大会の金・銀・銅メダルの紐も、じつは私たちが手がけた組紐です。組紐は「丸台」と呼ばれる台を使い、絹糸を巻き付けた「組玉」を順番に交差させてつくります。日本には飛鳥時代に伝わり、仏教の経典の包みや飾り紐として使われていました。武器の甲冑では「組紐7割、鉄3割」と言われるほどの必需品。茶道具においては結びの文化とともに美しい組紐が生まれました。組紐は、繊細な絹糸の集まりですが、驚くほど強靱です。二重にした組紐が空軍のパラシュートの紐に使われていた時代もありました。



**組紐の新しい表現や用途が話題ですが、どのようにして広がったのでしょうか?**  
伝統技術というものは先代から受け継いだ、技と想いとこだわりを、次の世代に継いでいくことが大切です。しかし5代目の息子が工房に入ったことをきっかけに変化が生まれました。5代目は、途中で向きを90度変えるという新しい組み方を考えたり、中心を空洞にする組み方を研究し「くみひもうるしペン」という商品を開発したり。さまざまなラグジュアリーブランドとのコラボレーションも次々と形にして



工房の中

いています。江戸には「粋」と「野暮」しかありません。そして江戸の粋は常に進化してきました。組紐にも進化させる部分があっという。今は膝を折って、若い世代と一緒に考えていくことの大切さや面白さを感じています。

**新たな挑戦の一方、原点ともいえる絹糸づくりにも取り組んでいると聞きました。**

組紐は絹糸でできています。しかし絹糸は現在、99.6%以上が輸入品。明治時代に日本を代表する輸出品だった絹が、今は国内供給率1%以下なのです。組紐をやるならば桑畑からやらねばと、群馬県にある農家さんや生糸メーカーとともに純国産シルク作りに取り組み始めて10年以上になります。また、絹の染色もやっています。「野に咲く花を摘むがごとく」が信条で、草木染めなどをおこなっています。

**これから、どんなことに力を注いでいきたいですか?**

伝統工芸を未来につなげていくためにも、子供たちとの交流を大切にしていきたいですね。4年ほど前から、東京の伝統工芸を子供たちにも体験してもらおうと、東京七宝や東京染小紋など41品目の体験会を開催しています。映画『君の名は。』によって、若い世代にも広く組紐を知ってもらうことができました。「糸」偏の漢字に「縁」「絆」があるように、組紐を通じて、人と人、時代と時代をつないでいきたいと思っています。

### 中央区文化・国際交流振興協会役員名簿

(令和4年7月13日現在)

理事長	三田 芳裕	中央区観光協会副会長
副理事長	齊藤 進	中央区副区長
理事	遠藤 彬	東京商工会議所中央支部副会長
〃	柴川 賢	中央区商店街連合会会長
〃	森山 照明	中央区工業団体連合会会長
〃	高野 眞弓	東京日本橋東ロータリークラブ前会長
〃	五味 達夫	東京銀座ライオンズクラブ元会長
〃	雷田 正一	京橋地域町会連合会会長
〃	高橋 伸治	日本橋地域町会連合会会長
〃	奥石 智宏	月島地域町会連合会会長
〃	石本 正幸	中央区文化連盟連絡協議会会長
〃	木本 慎一	中央区体育協会理事長
〃	及川 純	中央区PTA連合会会長
〃	中村 圭輔	東京青年会議所中央区委員会委員長
〃	濱田 徹	中央区区民部長
〃	生島 憲	中央区教育委員会事務局次長
監事	神谷 聖子	中央区女性海外研修者の会元会長
〃	鈴木 浩	中央区会計管理者

### 表紙 新大橋(隅田川)

### 小川 幸治

隅田川に架かる新大橋は、昭和52(1977)年竣工の中央区日本橋浜町と江東区を結ぶ全長173.4mの斜張橋。橋の中央にあるオレンジ色の主塔はまっ直ぐに立ち、川面に映る。頻りに行き交う船舶が波をたてその影を揺らす。歌川広重の「江戸名所百景」には江戸時代の木造の橋が描かれている。明治45(1912)年建造の旧新大橋は、その一部が博物館明治村に移築保存されている。

特集は、公益社団法人 国際日本語普及協会(AJALT)の内藤真知子氏に昨年10月・11月に開催した日本語ステップアップ講座「学習者の思いを引き出す～「聞く力」は始めの一步～」及び「学習者の多様性を受け入れる～一人一人の個性を生かした教室活動とは～」。

また、本年3月のボランティア研修会「日本語教育を通して見たハノイ」のお話が大変好評でしたので、内容を充実させてご寄稿いただきました。「ひと 粋・活き」では、中央区が誇る文化資源を紹介する「中央区まちかど展示館」の一つであり、帯締めの生産として130年以上の歴史を持つ、江戸東京組紐の老舗「龍工房」の4代目店主の福田隆氏にお話を伺いました。